

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立浜名特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜名特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	125人

1. 使用状況

寄贈物品名	防災ソフトつみき
使用学年及び人数	中学部自立グループ 2・3年生 2人
使用頻度	週5回
使用状況	日常生活の指導として靴の履き替え時、自立活動(個別学習)時に、生徒が自力で座位を保持する学習に使用している。また、自立活動(からだ)時に、ソフトつみきへ両手を着き、低い姿勢を保持するために使用している。
物品の使用による変化や効果	適度な高さがあり、安定しているため扱いやすい。そのため、複数のつみきを組み合わせることによって、生徒の体格や目的に合わせて高さの調整が容易にできる。また、通常時に使用する椅子と異なり、座面が広く、手すりや背もたれがないため、生徒が体幹を保持し続けながら座ることや膝や足首を使って立ち上がる練習に有効であった。
今後の活用の見通しや課題	今年度は上記のとおり、申し込み当初の目的である座位を保持する訓練のために常用した。現在は使用する生徒が2人と限られているため、今後は他の生徒も活用できるように周知することや自立活動(なかま)の授業や小学部の自立活動の授業での使用など、活用範囲を広げていきたい。
その他希望や所感など	今後の見通しで述べたとおり、活動場面や使用する児童生徒の範囲を広げていきたい。

2. 活用の様子



自立活動(個別学習)における座位の保持



日常生活の指導における靴の履き替え